

1 校訓

- 【自律】 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒
- 【協同】 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒
- 【責任】 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒

2 学校教育目標

人との繋がりの中で、豊かな心を育み、自ら学び考え、
たくましく生きる生徒の育成を目指す

『 繋ぐ 』 ～さまざまな繋がりの中で人を育てる～

【めざす生徒像】

- 将来を見据え自ら考え、自ら学び努力する生徒
- 礼儀正しく規律ある生徒 「場を清め」「時を守り」「礼を正す」生徒
(挨拶、返事、掃除、時間、身だしなみ、言葉遣い、良い姿勢が身についている生徒)
- 協力的で、他人を思いやり社会貢献できる生徒
- チャレンジ精神を持ち、向上の意欲に溢れる生徒
- 心身共に健康で強い意志を持つ生徒

【めざす教師像】

～すべては生徒のために～

信頼・責任・協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団

「チーム柳西」として一丸となり、情報共有・行動連携を実践する教職員

- 教育的な温かさとしげさにあふれ、知恵を出し、汗を流すことを惜しまない教師
- 教師としての資質向上をめざし、自己研鑽を怠らない教師
- 高い協働意欲のもと学校運営に積極的に参画し、保護者や地域から信頼される教師
- 高い危機管理意識を持った教職員
- 生徒の心と体の変化に気づくことができる教職員

【めざす学校像】

- 明るく活気にあふれ、生徒・教師が生き生きと安全で安心して生活できる学校
- 生徒と教師がお互いに信頼と誇り(母校愛=プライド)がもてる学校
- 清潔で美しく、落ち着いた環境で生活できる学校
- 保護者や地域と連携して「開かれた学校づくり」を推進し、信頼される学校

3 本年度の重点目標と具体的方策

【確かな学力の向上】

「わかる授業」「生徒が主体的に学ぼうとする」学習指導

(1) ICT の活用の推進 (機器を用いた授業、タブレット端末の活用を図る。)

(2) わかる授業の5つのポイント(めあて・まとめ・ふりかえり)「学習の流れ」等を意識した授業

(3) 確かな学力の育成、授業規律の確立に努める。

授業規律確立(「チャイム席、始業と終業の挨拶、正しい姿勢と聞く態度、学習環境の整備)」のため、
全職員で柳西中学校授業ルールの定着に取り組む

(4) 家庭学習習慣の定着を図る。

自学自主ノートの取組を継続、家庭学習習慣・家庭運動習慣「学びの基盤づくり」の確立に努める。

- (5) 不登校対策
ステップアップ教室の充実
- (6) 特別支援教育の推進
特別支援教育の充実（ユニバーサルデザインの視点にたった特別支援教育の充実）
個別の指導計画などの確実な作成と引きつぎ

【心の育ちの推進】

繋がりの中で豊かな人間性と・やさしい心を育てる教育の推進

- (1) 日々の教育活動の中に、学校行事の中で豊かな体験となる機会の創出
(体験活動、道徳教育、人権教育、食育、部活動等の充実を図る。)
- (2) 道徳時間の充実（特別な教科道徳の評価研究）
道徳の教科化に伴う取組→ローテーション道徳や授業力向上のための研修を行う。
- (3) 図書館の活用等の読書活動の充実を図る。「読書」で心を耕し、豊かにする
移動図書・朝読書・明日への伝言板・ビブリアバトル実施・読み聞かせ・ブックトークなど実施
- (4) 愛校心を育てる清掃活動の徹底・より良い環境づくり
- (5) 礼儀正しく規律ある生活習慣の確立と組織的・機動的な生徒指導体制の確立を図る。
- (6) 確かな人権教育の推進
明日への伝言板・いのち・北九州こどもつながりプログラム等を活用
① 感染者に対する偏見等、差別の防止 ② ジェンダー教育 ③ パワハラ等
- (7) 早期から始めるキャリア教育の推進
① 進路（高校調べ） ② 職業人に学ぶ

【健やかな体の育成】

健やかな体を作る指導の充実と体力の向上

- (1) 生徒の健康・安全を第一に考える教育活動の推進
衛生面の徹底（マスク、手洗い、消毒）密にならない生活環境・授業づくり
コロナウイルスについて正しく「知る」正しく「予防」を推進する。
- (2) いじめ防止や生徒の命を守る教育を行う安全・危機管理・防災教育の推進
① 生徒会執行部や専門委員会活動の活性化を図り、生徒会活動を充実させる。
② 教育相談等の活用いじめや不登校を生まない教育実践の充実を図る。
- (3) 部活動の充実（限られた時間の中で可能な部活動運営を推進）
- (4) 給食指導・朝ごはん等の食育の推進

【連携の充実・社会とのかかわりを生かした教育の推進】

コミュニティスクールとして地域に根差した教育づくり

- (1) 学校運営協議活動（国型コミュニティ・スクール）の推進
小中一貫・地域連携を基盤とした信頼される学校づくり・学校ボランティアの活用
① PTA 活動・地域活動小中一貫・地域連携教育の効果的な取組を模索し、児童生徒の育ちの連続性を意識した教育活動を実践する。
② 家庭訪問等による家庭との連携を強化する。（欠席者には、電話連絡、家庭訪問等）
③ 学校・学年・学級通信等、積極的に情報を発信するとともに、
④ 「ワンディボランティア・地域ボランティア」の活用
⑤ 学校評価の充実
- (2) SDGs の視点から、生徒に自ら考え、活動する取組を推進する。

挨拶をする 時間を守る 掃除をする ものを大切に 服装を整える 話をきく